

(英語版)

(アラビア語版)

見果てぬ平和 中東の戦後70年 (四十六)

第六章 現代イスラームテロの系譜

三、世界を震撼させた9・11同時多発テロ

二十一世紀は「9・11同時多発テロ」で幕を開けた。二十世紀末の最後の十年間にもイスラームテロが多発したが、9・11テロはその規模の大きさと言いい、世界に与えた影響と言いい比較にならないものであった。

二十世紀末の主なテロを列挙すると1992年のイエメン・アデンのホテルの爆弾事件でオーストリア人観光客二名が死亡、翌93年にはニューヨークの世界貿易センタービルで8人が死亡、一千人以上が負傷する爆破事件が発生している。さらにエジプトのルクソールで観光客に対するテロ事件(1998年)、ケニアとタンザニアでの米国大使館同時爆破テロ(1998年)、さらに1999年9月にはモスクワで二件のテロ事件により二百人以上の死者が発生している。

これらのテロ事件の犯人たちはいずれもムスリム(イスラーム教徒)であるが、首謀した組織や事件の背景により大きく三つに分けることができる。一つは狂信的なイスラーム主義者による単独犯的な異教徒襲撃事件であり、ルクソール事件がそれに相当する。もう一つはイスラーム反政府組織による中央政府に対する抵抗運動であり、中央アジアのイスラーム系組織によるモスクワ・テロ事件がこれである。この二つのテロはいずれも国内犯による国内事件である。



これに対してニューヨーク或いはケニア、タンザニアの爆弾テロは、オサマ・ビンラーデーン率いるイスラム原理主義組織「アル・カイダ」が米国を標的として世界に展開したテロ活動であった。そのアル・カイダが本格的に牙を剥き二十一世紀初頭に引き起こしたのが「9・11同時多発テロ」であった。誰一人知らぬ者がないほど有名な事件であるが、「ここ」でそのあらましを追ってみよう。

2001年九月十一日朝、ボストン発ロスアンゼルス行きアメリカン航空十一便が午前八時十四分にハイジャックされた。犯人は操縦桿を握り進路を南に変更、8時46分にニューヨーク・世界貿易センタービルの北棟に突入した。市民たちは最初何が起こったのか理解できず、小型機が操縦を誤って衝突したとばかり思った。ところがアメリカン航空十一便の直後に同じ空港から同じ目的地に向かったユナイテッド航空175便が同じようにハイジャックされ、後を追うような形で貿易センタービルの南棟に突入、最初の事件を報道していたテレビニュースがその瞬間の有様を中継したことによりニューヨーク市民だけでなく世界中の人々がライブ映像で目撃することとなった。実に信じがたい光景だったのである。これにより人々は尋常ならざるテロ事件であることを理解した。

事件はこれだけではなかった。ワシントン発ロスアンゼルス行きアメリカン航空77便もハイジャックされ、こちらは9時38分、国防総省本部（建物が五角形の星形であることからペンタゴンと通称される）に激突した。さらにニューアーク発サンフランシスコ行きユナイテッド航空93便が九時二十七分に乗っ取られたが、こちらは貿易センタービルの事件を知った機内の乗客がハイジャックを阻止しようとしワシントンの北西240KMの地点で地上に激突した。時間は午前十時三分。犯人はホワイトハウス或いは国会議事堂への突入を狙っていたものと推測される。4機同時ハイジャックによるテロ事件は死者三千人、負傷者六千三百人という史上最大の惨事となったのである。

事件後、ブッシュ大統領（当時）は犯行がオサマ・ビンラーデーン率いるイスラム過激派組織アル・カイダによるものと断定、テロ計画の立案者としてビンラーデーンの部下ハリド・シェイク・ムハンマドが逮捕された。事件は午前八時十四分の最初のハイジャックから午前十時三分の四機目の墜落までわずか二時間足らずの間起こった。アル・カイダはこの二時間のため膨大な時間をかけて入念な計画と周到な準備を重ねたのであるが、その中には大型ジェット機の操縦法の習得まで含まれていた。米国は9・11テロ事件に先立つ八年前（1993年）の貿易センタービル爆破事件でアル・カイダが米国本土を狙っていることは認識していたが、同時多発テロの動きを事前に察知することができなかった。テロリストたちは捜査当局の予測をはるかに超えるテロを計画し実行したのであった。エジプト人モハメド・アタを首謀者とする十九人の実行犯が特定され、十九人のうちの十一人はサウ

ジンであった。

この事件を契機として米国の対テロ作戦が動き出す。米国のブッシュ大統領はテロの撲滅を外交の最重要課題に掲げ、自衛のための先制攻撃もを辞さない強硬姿勢を示した。米国はアル・カイダの拠点であるアフガニスタンのタリバン政権に対して軍事行動を起こしこれを転覆した。オサマ・ビンラーデンは隣国パキスタンの険しい山の中を転々と逃亡した。彼はその間も世界各国のイスラーム過激派組織に呼びかけ、同調者たちによるテロ活動が世界各地で続発した。しかし米国は必死に追及、2011年五月、特殊部隊が急襲してイスラマバード郊外でビンラーデンを殺害した。彼は時に54歳であった。

二十一世紀、それはイスラーム過激派による抵抗の時代の幕開けであった。

(続く)

荒葉 一也

E-mail: Arehakazuya1@gmail.com

ホームページ: [OCIN INITIATIVE\(http://ocininitiative.maeda1.jp/index.html\)](http://ocininitiative.maeda1.jp/index.html)

(目次)